

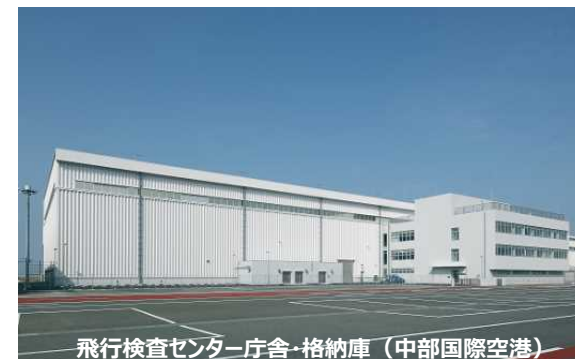
# 飛行検査の概要

## ■ 飛行検査と飛行検証

飛行検査業務は、航空局交通管理部運用課飛行検査センターにより実施される。

飛行検査センターは、中部国際空港に独立した庁舎及び格納庫を構え、2機種6機の飛行検査機を用いて、全国の航空保安施設が正常に機能しているかを確認する飛行検査、空港や航空路等に設定される計器飛行方式が安全で適切なものかを検証する飛行検証を実施している。

また、飛行検査・検証では、飛行検査機による実施のほか、様々な気象条件を再現するためシミュレータを用いたり、ヘリコプター専用の計器飛行方式ではヘリコプターを借り上げ、かつ専用の飛行検査装置を用いて実施する場合もある。



飛行検査センター庁舎-格納庫（中部国際空港）

## ■ 飛行検査機

### Cessna Citation Longitude C700 CKSTR7



最大離陸重量 17,920 kg  
 巡航速度 476 kt  
 最大運用高度 45,000 ft  
 航続距離 6,482 km  
 搭乗者数 10人

### Cessna 525C Citation CJ4 CKSTR8 ~ 12



最大離陸重量 7,700 kg  
 巡航速度 450 kt  
 最大運用高度 45,000 ft  
 航続距離 3,300 km  
 搭乗者数 6人

## ■ 飛行検査・飛行検証区分

### 飛行検査及び調査

開局検査

定期検査

特別検査

飛行調査

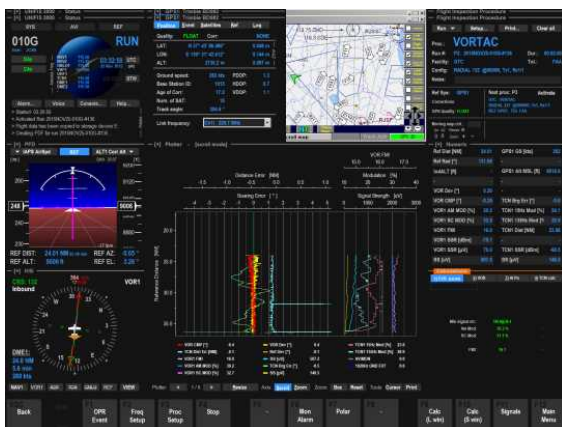
### 飛行検証

設定検証

定期検証

改正検証

特別検証



CJ4型機の飛行検査システム



RNP AR進入方式のシミュレータ検証の様子



ヘリコプター飛行検査・検証の様子 ヘリコプター専用の進入方式

